

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 2 区分
 【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2004-523517(P2004-523517A)
 【公表日】平成 16 年 8 月 5 日 (2004.8.5)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-030
 【出願番号】特願 2002-557211(P2002-557211)
 【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 31/09
 A 6 1 K 31/282
 A 6 1 K 31/337
 A 6 1 K 31/4745
 A 6 1 K 31/661
 A 6 1 K 33/24
 A 6 1 K 35/78
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 P 9/00
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 35/04
 A 6 1 P 43/00

【F I】

A 6 1 K 31/09
 A 6 1 K 31/282
 A 6 1 K 31/337
 A 6 1 K 31/4745
 A 6 1 K 31/661
 A 6 1 K 33/24
 A 6 1 K 35/78 C
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 P 9/00
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 P 35/04
 A 6 1 P 43/00 1 1 1

【手続補正書】
 【提出日】平成 16 年 12 月 20 日 (2004.12.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

腫瘍の増殖または転移を調節する必要のある動物において、有効量のコンプレタスタチン A - 4 化合物またはコンプレスタチン A - 1 化合物との連続投与または同時投与と組み合わせて腫瘍の増殖または転移を調節するための医薬の製造における、少なくとも 1 つの有効量の抗癌剤の使用。

【請求項 2】

腫瘍の増殖または転移を調節する必要のある動物において、少なくとも 1 つの有効量の

抗癌剤の投与と組み合わせる腫瘍の増殖または転移を調節するための医薬の製造における、有効量のコンブレタスタチン A - 4 化合物またはコンブレスタチン A - 1 化合物の使用であって、ここで、該医薬は、時間依存性有効腫瘍濃度の該抗癌剤を提供するように、該腫瘍への血流を調節するのに十分な該抗癌剤の投与に関連した時間に投与される、使用。

【請求項 3】

前記少なくとも 1 つの抗癌剤が、アルキル化剤、二官能性アルキル化剤、非ステロイドアロマトラーゼインヒビター、免疫療法剤、ニトロソ尿素化合物、代謝拮抗物質、抗腫瘍抗生物質、有糸分裂インヒビター、放射線、トポイソメラーゼ II インヒビター、および抗エストロゲンからなる群より選択される、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つの抗癌剤が、シスプラチン、カルボプラチン、オキサリプラチン、放射線、CPT - 11、パクリタキセル、5 - フルオロウラシル、ロイコボリン、エポチロン、ゲムシタビン、UFT、ハーセプチン、シトキサン、ダカルバキシン、イホスファミド、メクロレタミン、メルファラン、クロラムブシル、アナストロゾールおよびエキセムスタン、カルムスチン、ロムスチン、メトトレキセート、ゲムシタビン、シタラビン、フルダラビン、プレオマイシン、ダクチノマイシン、ダウノルピシン、ドキソルピシン、イダルビシン、ドセタキセル、ビンブラスチン、ビンクリスチン、ビノレルビン、トポテカン、ルプロン、メガス、ロイコボリン、イレッサ、フラボピリドール、免疫療法剤、ZD6474、SU6668、ならびにパルスボダールからなる群より選択される、請求項 1 に記載の使用。

【請求項 5】

前記抗癌剤が、「ピーク腫瘍濃度剤」であり、前記医薬と同時に投与されるかまたは近い時間に投与される、請求項 2 に記載の使用。

【請求項 6】

前記抗癌剤が、シトキサン、マイトマイシン C、シスプラチン、オキサリプラチン、およびカルボプラチンからなる群より選択される、請求項 1 または 5 に記載の使用。

【請求項 7】

前記抗癌剤が、持続性曝露剤であり、前記医薬の投与後に投与される、請求項 2 に記載の使用。

【請求項 8】

前記抗癌剤が、タキサン、エトポシド、リン酸エトポシド、イムノトキシン、およびエポチロンからなる群より選択される、請求項 1 または 7 に記載の使用。

【請求項 9】

前記抗癌剤が、AUC 剤であり、該 AUC 剤が、前記コンブレタスタチン A 4 化合物の投与前に投与される、請求項 2 に記載の使用。

【請求項 10】

前記抗癌剤が、アドリアマイシン、CTP - 11、およびトポテカンからなる群より選択される、請求項 1 または 9 に記載の使用。

【請求項 11】

前記コンブレタスタチン A 4 化合物が、コンブレタスタチン A - 4 リン酸塩であり、前記抗癌剤がシスプラチンである、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 12】

前記コンブレタスタチン A 4 化合物が、コンブレタスタチン A - 4 リン酸塩であり、前記抗癌剤がカルボプラチンである、請求項 6 に記載の使用。

【請求項 13】

前記コンブレタスタチン A 4 化合物が、コンブレタスタチン A - 4 リン酸塩であり、前記抗癌剤が CPT - 11 である、請求項 10 に記載の使用。

【請求項 14】

前記コンブレタスタチン A 4 化合物が、コンブレタスタチン A - 4 リン酸塩であり、前記抗癌剤がパクリタキセルである、請求項 8 に記載の使用。

【請求項 15】

前記コンプレタスタチン A - 1 化合物が、コンプレタスタチン A - 1 ニリン酸塩であり、前記抗癌剤がシスプラチンである、請求項 6 に記載の 使用。

【請求項 16】

前記コンプレタスタチン A - 1 化合物が、コンプレタスタチン A - 1 ニリン酸塩であり、前記抗癌剤がカルボプラチンである、請求項 6 に記載の 使用。

【請求項 17】

前記コンプレタスタチン A - 1 化合物が、コンプレタスタチン A - 1 ニリン酸塩であり、前記免疫療法剤が、CPT - 11 である、請求項 10 に記載の 使用。

【請求項 18】

前記コンプレタスタチン A - 1 化合物が、コンプレタスタチン A - 1 ニリン酸塩であり、前記免疫療法剤が、パクリタキセルである、請求項 8 に記載の 使用。

【請求項 19】

腫瘍の増殖または転移を調節する必要のある動物において、腫瘍の増殖または転移を調節するための薬学的組成物であって、薬学的に受容可能なキャリア中に、有効量の少なくとも 1 つの抗癌剤およびコンプレタスタチン A - 4 化合物 またはコンプレスタチン A - 1 化合物 を含有する、薬学的組成物。

【請求項 20】

前記少なくとも 1 つの抗癌剤が、シスプラチン、カルボプラチン、オキサリプラチン、放射線、CPT - 11、パクリタキセル、5 - フルオロウラシル、ロイコボリン、エポチロン、ゲムシタビン、UFT、ハーセプチン、シトキサン、ダカルバキシン、イホスファミド、メクロレタミン、メルファラン、クロラムブシル、アナストロゾールおよびエキセムスタン、カルムスチン、ロムスチン、メトトレキセート、ゲムシタビン、シタラビン、マイトマイシン C、フルダラビン、ブレオマイシン、ダクチノマイシン、ダウノルビシン、ドキシソルビシン、イダルビシン、ドセタキセル、ビンブラスチン、ピンクリスチン、ビンノレルビン、トポテカン、ルプロン、メガス、ロイコボリン、イレッサ、フラボピリドール、免疫療法剤、ZD6474、SU6668、ならびにバルスポダールからなる群より選択される、請求項 19 に記載の薬学的組成物。

【請求項 21】

前記少なくとも 1 つの抗癌剤が、シトキサン、マイトマイシン C、シスプラチン、オキサリプラチン、およびカルボプラチンからなる群より選択される、請求項 20 に記載の薬学的組成物。

【請求項 22】

前記少なくとも 1 つの抗癌剤が、タキサン、パクリタキセル、ドセタキセル、エトポシド、リン酸エトポシド、およびエポチロンからなる群より選択される、請求項 20 に記載の薬学的組成物。

【請求項 23】

前記少なくとも 1 つの抗癌剤が、アドリアマイシン、CTP - 11、およびトポテカンからなる群より選択される、請求項 20 に記載の薬学的組成物。

【請求項 24】

前記抗癌剤が、シスプラチンである、請求項 20 に記載の薬学的組成物。

【請求項 25】

前記抗癌剤が、カルボプラチンである、請求項 20 に記載の薬学的組成物。

【請求項 26】

前記抗癌剤が、CPT - 11 である、請求項 20 に記載の薬学的組成物。

【請求項 27】

前記抗癌剤が、パクリタキセルである、請求項 20 に記載の薬学的組成物。

【請求項 28】

前記コンプレスタチン A - 4 化合物が、コンプレスタチン A - 4 リン酸塩である、請求項 20 ~ 27 に記載の薬学的組成物。

【請求項 29】

前記コンプレスタチン A - 1 化合物が、コンプレスタチン A - 1 ニリン酸塩である、請求項 20 ~ 27 に記載の薬学的組成物。